



**DUAL MONAURAL
POWER AMPLIFIER
No.532**

取扱説明書

HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社



1. はじめに

このたびは、マークレビンソン No. 532 パワーアンプをお買い上げ頂きありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読み頂き、正しい操作で、末永くご愛用下さい。

2. 開梱にあたって

No. 532 の梱包重量は約 60kg です。開梱は必ず二名以上で行ってください。開梱、設置を容易にするため、ナイロンストラップとノンストップ加工された手袋が付属しています。設置の際は前後のストラップを持ち、カートンから水平に抜き出して設置場所に移動してください。また、設置後移動する際は、スピーカーターミナルなどの突起部を持たず、本体前後面下部を両手でしっかりと持って運んでください。

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。もし、万一損傷や故障が認められた場合は、直ちにご購入店にご連絡下さい。

オリジナルの梱包材は、緩衝材等を含め、開梱後もお手元に保存下さるようにお薦めします。修理等のために製品を輸送されるような場合、オリジナル梱包以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じて、責任を負いかねますのでご注意下さい。

3. 付属品

本体の他に、下記の付属品が納められていますので、お確かめ下さい。

- AC電源ケーブル×1本
- 3P-2P変換ACプラグ×1個
- 3.5mm ミニプラグ付ケーブル(トリガーコントロール用)×1本
- ナイロンストラップ(開梱/設置用)×1本
- 手袋(開梱/設置/移動用軍手)×2組

4. 保証について

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。仕様変更、バージョンアップなどに伴うアフターサービスは、保障期間の有無にかかわらず有償となります。また、その際の送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

5. 設置

ヒートシンク(放熱板)は大量の熱を放出するため、周囲には十分な空間を設け、熱の対流を妨げないように設置場所を決めて下さい。

本機は非常に大きな電流容量の電源を持っていますので、アナログ・プレーヤー、ヘッドアンプ、プリアンプ等の微弱レベルを増幅する他の機器の近くに設置すると、誘導ハムを引き起こすこと

DUAL MONAURAL POWER AMPLIFIER No.532

がありますのでご注意ください。スペース効率を高め、出力特性を十分に発揮させるために、本機をスピーカーの近くに設置することをお薦めいたします。

6. 電源

本機の電源は、一般家庭でのご使用に合わせて 100V にセットされています。また、本機は大量の電流を必要とします。電源は他の機器との共用を避け、独立したコンセントを使用して下さい。テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いいたします。

7. フロントパネル各部の名称と働き



①インジケータランプ

本機の動作状態を LED ランプの点灯/点滅により表示します。本機の電源がオンになり動作中は、ランプが明るく点灯します。本機がスタンバイ状態の時、ランプは点滅状態になります。また、スリープ状態では暗く点灯し、メイン電源が通電されていることを示します。

②メイン電源スイッチ

ボタンを押し込むことで本機フロントパネルの赤いインジケータが暗く点灯し、約 10 秒後にメイン電源が入ります。このスイッチはパワーアンプを制御するオペレーション回路と保護回路を働かせるための電源スイッチで、このスイッチの操作だけではアンプのオーディオ回路を働かせることはできません。電源のオン/スタンバイ(またはスリープ[※])の操作はスタンバイ・ボタンで行います。

※スタンバイとスリープの切り替えはリアパネルのパワーセーブ・モード・スイッチで行います。

③スタンバイ・ボタン

本機がスタンバイまたはスリープ状態の時、このボタンを押すことによりインジケータが明

るく点灯し、本機は動作状態になります。

通常、本機を使用しない時はスタンバイの状態にしておくことで、主要回路が常に通電されているため、動作状態にした際にすぐに本来の性能を発揮させることができます。

動作中にボタンをもう一度押すとスタンバイ/スリープ状態になり、インジケータが点滅または暗い点灯となり、音が出なくなります。

《注意》

本機がスタンバイ状態の時、本体上部から熱を発生しますが、これは主要回路が通電されているためで異常ではありません。また、本機はスタンバイ状態で約 100W の電力を消費します。外出の際は必ずメイン電源スイッチにて電源をオフの状態にしてください。また、長期に渡り外出される際には、フロントパネルのメインスイッチをオフの状態にし、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き取っておいてください。

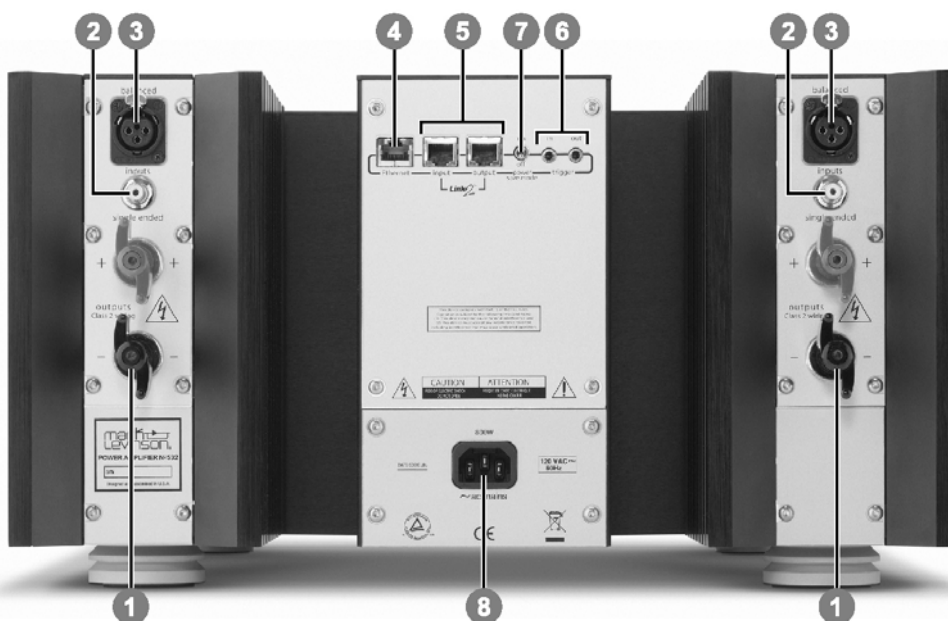
本機は次のような異常を感知すると内部の保護回路が働き、自動的に電源をオフの状態にします。この場合、異常が改善されるまで電源は入りません。

- 出力への直流漏れ
- AC電源の過大電圧もしくは電圧降下
- 異常温度上昇

スタンバイ・ボタンを押しても電源がスタンバイからオンの状態にならない場合は、メイン電源を切ってから電源や入出力ケーブルの接続を確認して下さい。接続に誤りがなく、または誤りを訂正しても電源が入らない場合には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでご相談下さい。

8. リアパネル各部の名称と働き

リアパネルの各部の接続は、接続するすべての機器の電源を切ってから行ってください。



DUAL MONAURAL POWER AMPLIFIER No.532

オーディオ入出力端子：

①スピーカー出力端子(outputs + / -)

スピーカーケーブルを用いてスピーカーシステムを接続します。+(赤)/-(黒)を間違えないように注意して接続してください。端子中央の穴はバナナ端子に対応しています。

本機出力特性を十分に発揮させるために、スピーカーケーブルはできるだけ短くなるように配線を工夫してください。このため、本機をスピーカーシステムの近くに設置することをお勧めします。

《注意》

スピーカーケーブルを接続する際は、出力端子をショートさせないよう十分にご注意下さい。安全のため、スピーカーケーブル端末にはY型(またはU型)圧着端子を取り付けた上でご使用下さい。

トラブルを避けるため、本機出力端子にシステム・セレクターなどの機器を接続しないでください。

②アンバランス入力端子(inputs single ended)

RCAタイプのアンバランス出力を持つ機器を接続します。アンバランス入力を使用する場合には、XLRバランス入力端子の3番ピンと1番ピンとの間に付属のショートピンを差し込んでおいてください。

③バランス入力端子(inputs balanced)

XLRコネクタによるバランス出力を持つプリアンプとの接続に使用します。バランス入力端子の3番ピンと1番ピンの間に差し込まれているショートピンをピンセットやラジオペンチなどで引き抜き、XLRメイルプラグを接続してください。抜き取ったショートピンは、本機でアンバランス接続を行う際に必要となりますので、大切に保管してください。

クオリティを十分に引き出すため、プリアンプとの接続にはバランス入力の使用をお勧めします。

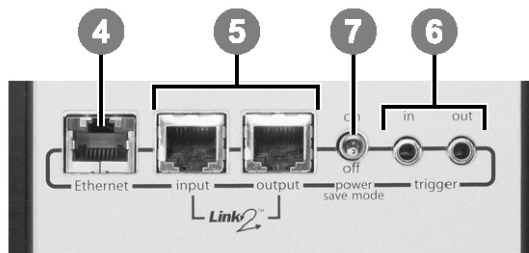
本機のXLRコネクタは、以下のピン配列になっています。



XLRコネクタのピン配列

1番ピン	シグナル・グラウンド(シールド)
2番ピン	ホット(+)
3番ピン	コールド(-)
コネクタラグ	シャーシ・アース

コントロール端子：



④コンピューター・コントロール端子(Ethernet)

パワーアンプのオペレーション・ソフトウェアのバージョンアップやコンピューターを用いてのコントロールなどに使用するコンピューター接続ポートです。コンピューターとの接続には専用のアダプターとソフトウェアが必要ですので、むやみにこれらの機器と接続しないようお願いいたします。

⑤マークレビンソン・コントロール端子(Link 2 input / output)

マークレビンソンのN o 3 2 0シリーズのプリアンプと接続し、プリアンプのスタンバイボタンの操作により本機の電源をスタンバイから動作状態にすることができます。また、スタンバイ時のLEDの点滅をプリアンプと同期させることが可能です。

コミュニケーション・ケーブルを用いてプリアンプのマスター(master)ポートとインプット(input)に接続します。N o 4 3 0 Lシリーズ・アンプを複数使用する場合には、1台のアウトプット(output)ポートからもう1台のインプット(input)ポートへと順に接続してください。コミュニケーション・ケーブルをご入用の際には、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談下さい。

⑥トリガー コントロール端子(trigger in / out)

他のA V関連機器と組み合わせて使用する場合に、各機器のリモート・ターンオン・ジャックに3.5φミニプラグ付きケーブルで接続すると、接続した機器のスタンバイ・ボタンの操作により本機のオン/スタンバイをコントロールすることができます。ミニプラグ付きケーブルをトリガー入力(trigger in)に接続してください。

本機はD C 3 V ~ 1 2 Vのレベル出力(連続出力)を感知した時、動作状態となります。

複数のアンプを連動させる場合には、トリガーアウト端子(trigger out)から他のアンプのトリガー入力に接続してください。トリガーアウト端子には、トリガーインプット端子より入力された信号がそのまま出力されます。

電源ソケット/モードスイッチ：

⑦パワーセーブ・モードスイッチ(power save mode on / off)

本機のスタンバイボタンを操作した際、パワーセーブモード・スイッチがオフ(off)の場合は本機の電源はスタンバイ~オンの間で動作します。パワーセーブモード・スイッチがオン(on)の時、本機の電源はスリープ~オンの間で動作します。

DUAL MONAURAL POWER AMPLIFIER No.532

本機はスタンバイ状態の時、主要オーディオ回路は常時通電されているため、電源オンにすることですぐに真価を発揮させることができますが、スタンバイ状態で常時約100Wの電力を消費します。スリープ状態では、オペレーション回路を除くすべての回路がオフとなるため、待機時の消費電力を約10W以下に抑えることができますが、電源をオンにした後本機の真価を発揮させるまでに若干のヒートアップが必要となります。

《注意》

パワーセーブモード・スイッチを切り替える際は、必ずメイン電源スイッチをオフにした上で操作を行ってください。

⑧AC電源ソケット

他のすべての接続が終わったことを確認した上で、AC電源ケーブルをコンセントに接続します。本機には、3極IECソケット付きACケーブルが付属していますので、このソケットを本機のAC電源入力端子に接続した上で壁のコンセントに接続してください。本機は大量の電力を必要とするため、電源ケーブルは必ず壁のコンセントに直接接続し、テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いします。

9. 保守

お手入れの際には、柔らかい布を使用して乾拭きするようにしてください。汚れがひどい時には、薄い石鹼水に柔らかな布を浸し、硬く絞って汚れを拭きとった後、乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布したりすることは避けてください。

お手入れの際は、本機及び本機に接続されている機器の電源を切り、接続ケーブルを外しておいてください。

10. 規格

モデル No.	No. 532
定格出力 (20Hz~20kHz, THD<0.5%)	400W (@8Ω) × 2ch
周波数特性 (-0.1dB)	20Hz~20kHz
S/N 比 (1W基準)	85dB 以上
入力端子	RCA (アンバランス) × 1 組 XLR (バランス) × 1 組
入力インピーダンス	100kΩ (バランス) 50kΩ (アンバランス)
電圧ゲイン	26.8dB
入力感度	1W (@8Ω) 出力時 : 130mV 定格出力時 : 2.59V
出力端子	大型ハインディングポスト × 1 組
消費電力 (±5%)	スリープモード時 : 5W スタンバイ時 : 131W 無信号時 : 135W 定格出力時 (@8Ω) : 1,731W
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	445 × 243 × 539mm
梱包重量	58.9kg
本体重量	55.3kg

※定格出力及び消費電力は、電源ケーブルを通じて十分な電力供給が得られた場合の数値です。



ハーマンインターナショナル 株式会社